

尼崎市議会の オピニオン・リーダーとして…!

～未来を見据え、「住みよい街・あまがさき」の創造を目指して～

昨年6月の市議会改選により、私たち新政会は市民の皆様の負託を頂戴し、新たに2名の新人議員を迎え、計12名の市議会最大会派を形成するに至りました。

私たち新政会の政治的ポリシーは、真の保守の気概を持ちながらも、自由と民主主義を尊重する、政策に長けた議員の中の議員たらんとする姿勢です。

そして、「今、変えなければならないものは何か？変えてはならないものは何か？」を十分精査し、その目標にむかって進むべき政策を決定いたしております。

今、本市は未曾有の財政危機に再び直面しています。

22年度予算議会を前にして、正に議会の機能、議員個人々の政策判断能力が今後、厳しく問われることとなってまいります。

そのような中、本市議会のオピニオン・リーダーとして、私たちの果たすべき役割、責任は甚大であり、“ベターよりもベストな政策”を実現するために、会派一丸となって、市政に取り組みますので、皆様のご理解とご支援のほどよろしくお願いいたします。

尼崎市議会

新政会

2010年
春号



平成22年度に向けた"あまがさき行財政構造改革推進プラン(素案)"及び平成22年度新規・拡充事業(素案)が公表される!!!

1 総括

尼崎市は、現在、さらなる財政の健全化の取組を進め、安定した財政基盤の確立を進めるとともに、地域社会で支える仕組みづくりなど住民自治基盤の確立に努めていくため、平成20年度から24年度までの5年間の計画期間とする"あまがさき行財政構造改革推進プラン"を策定し、毎年度、改革改善項目を追加計上しながら実施してきています。

昨年11月、市当局から平成22年度向けのプラン(素案)が公表されました。現在の市財政の状況は、昨年来のリーマン・ショックに端を発した経済不況の影響を受け、法人市民税等の急激な落ち込みや生活保護費をはじめとする扶助費の増加、国・県等の各種改革の影響等により、これまでの構造改善の取組効果以上の収支不足をきたし、慢性的な赤字体質に負の要因が大きく加わった形となり、財政構造の硬直化が一段と加速している現状にあります。こうしたなかで、計画最終年度の平成24年度の収支見通しは平成21年2月時点で77億円の収支不足となっていました。更に30億円悪化し107億円となっています。

また、これまで財源対策として収支不足を補ってきた財政調整基金等の主要3基金(一般家庭でいうと貯蓄)は、平成22年度にはその残高がほぼ底をつく状況にあり、市債(一般家庭でいうと住宅ローンなどの借金)の活用も限りがあることから、このまま構造改善が進まなければ、早期健全化団体への転落も現実の問題となる極めて危機的な状態にあります。

- ・実質的な収支均衡の確保
- ・財政規律の確保
(個人給付施策の国・県基準等への見直し、公の施設の統廃合等の推進など)
- ・人件費を含む内部管理経費の徹底した見直し
(定数削減、期末・勤勉手当の削減などの人件費の削減など)
- ・歳入確保に向けた取組の一層の強化
(使用料・手数料の見直し、減免制度の見直し、公有財産の有効活用など)
- ・新規項目が38件
法人保育園待機児童解消加算金の見直し、イベント行事等の一時凍結、敬老事業の見直しなど
- ・追加項目8件
使用料・手数料の改定、減免制度の見直し、職員の期末勤勉手当の削減など
- ・変更項目8件
市立幼稚園の見直し、老人市バス特別乗車証制度の見直し、行政協力員やさわやか指導員の見直しなど

4 中核的視点
↓
具体的項目

2 今後の取組について

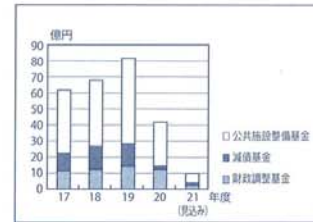
- 平成22年度においては、厳しい財政状況下においても、
- ・安全安心のパラダイムシフト「対処」から「予防」へ
(要援護者への見守り、生活習慣病予防対策など)
 - ・未来への人「財」づくり
(子育て支援、学校教育の充実など)
 - ・持続可能なまちづくり
(地球温暖化対策、雇用・就労支援など)
- の3点を施策の重点化方向として位置づけ、平成22年度向けの新規・拡充事業を展開することとしています

そして、私たち新政会として

このプラン及び新規・拡充事業については、既に昨年12月に市報等で市民意見公募手続きが行われ、2月議会に平成22年度予算の提案とあわせて成案化される予定になっています。特に、今回のプランにおける改革改善項目には、市民生活に直接影響の大きい項目も多いことから、今後、2月の予算議会においては我が会派としても、将来の尼崎を見据え、今、何をしなければならぬかという視点を重視して、市当局の考え方を質してまいりたいと考えています。!

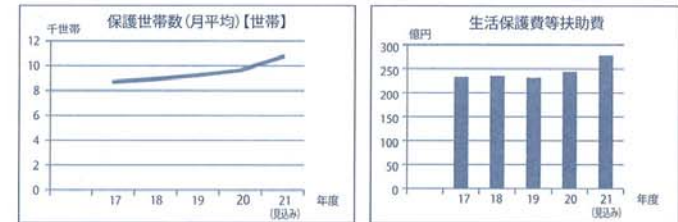
〈参考資料〉

・主要3基金の年度末現在高推移



※但し、減価基金におけるアルカイク広場事業費(20年度・138億円、21年度見込・114億円)を除く

・生活保護世帯数等の推移



※平成22年1月1日現在の本市の全世帯数は208,446世帯

市民プールについて

市民プール統合条例案についての見解

素案が示されて以降、PTA連合会や地域社協など様々な団体から存続を求める署名が多数寄せられ、これまでに議会でも様々な議論が行われてきました。今回、市民プールの廃止に至った理由は2つあり、「利用者の減少による大幅な収支乖離」と「施設の老朽化に伴う大規模改修・建て替え費用がまかなえない」ことです。行政当局は夏休みの子どもの居場所を確保する努力・次善策を提案せず、ただ単にプール施設を廃止をするという方向でありました。しかし、我が会派のリードで学校プールを一定開放することを提案し実現するなど、行政当局の対応が後手後手となったことについて反省すべきであります。類似都市との分析資料から市内6地区に一つずつ市民プールが配置されている自治体は存在せず、非常に本市は恵まれていたと言えます。これは以前の本市の財政が非常に潤沢であったことの証でもあります。我が会派としてもできることならば、廃止ではなく存続という方向性を見出したいところではありましたが、安全性調査の結果、対象プール施設の安全性が確保できないという事実と、現在未曾有の財政難という状況の中、他都市と比べ圧倒的に多い施設数をこれまでと同じ規模で維持できる状況ではないと判断するに至りました。

今後は、

- 1.学校プール開放について、地域との協働によって順次拡大していくことや実施施設が継続していくための方策の検討。
- 2.跡地利用に関して、多くの市民からの意見を反映し、有意義な空間利用の実現。
- 3.残る2箇所の市民プールをリニューアルや新たな活用方策を検討・実行していくことが必要であると私たちは考えております。

	姫路市	西宮市	伊丹市	宝塚市	川西市	三田市	姫路市	
人口(万人)	461.833	479.192	93.096	195.149	223.473	157.928	113.856	
面積(㎡)	49.91	100.18	18.57	25.09	101.89	53.44	210.22	
プール1ヶ所あたりの人口	8	2	2	1	0	1	2	
5ヶ所圏単位の人口	7	1	2	2	1	0	1	
利用料金	<ul style="list-style-type: none"> ①市民プール 一般 400円 ②市民プール 小学生以下 200円 ③市民プール 中学生以上 200円 ④市民プール 小学生以下 200円 ⑤市民プール 中学生以上 200円 ⑥市民プール 小学生以下 200円 ⑦市民プール 中学生以上 200円 	<ul style="list-style-type: none"> ①市民プール 一般 400円 ②市民プール 小学生以下 200円 ③市民プール 中学生以上 200円 	<ul style="list-style-type: none"> ①市民プール 一般 400円 ②市民プール 小学生以下 200円 ③市民プール 中学生以上 200円 	<ul style="list-style-type: none"> ①市民プール 一般 400円 ②市民プール 小学生以下 200円 ③市民プール 中学生以上 200円 	<ul style="list-style-type: none"> ①市民プール 一般 400円 ②市民プール 小学生以下 200円 ③市民プール 中学生以上 200円 	<ul style="list-style-type: none"> ①市民プール 一般 400円 ②市民プール 小学生以下 200円 ③市民プール 中学生以上 200円 	<ul style="list-style-type: none"> ①市民プール 一般 400円 ②市民プール 小学生以下 200円 ③市民プール 中学生以上 200円 	<ul style="list-style-type: none"> ①市民プール 一般 400円 ②市民プール 小学生以下 200円 ③市民プール 中学生以上 200円
学校プール開放状況	有	有	有	有	有	有	有	
施設数	1	1	1	1	1	1	1	

行政視察

総務消防委員会

所属：荒木伸子議員、波多正文議員
平成21年 10月14日～16日
①川崎市(災害時要援護者避難支援制度等)
②浜松市(総合基本計画等)
③多治見市(健全な財政に関する条例等)

健康福祉委員会

所属：上松圭三議員、蔵本八十八議員
平成21年 10月20日～22日
①仙台市(子育てふれあいプラザ等)
②盛岡市(市夜間急患診療所等)
③十和田市(介護保険の実施状況等)

文教委員会

所属：丸岡鉄也議員、北村保子議員、上村富昭議員
平成21年 10月14日～16日
①つくば市(電子黒板を使った授業等)
②船橋市(英語教育特区等)
③横須賀市(普通科校と商業科・工業科校との統合等)

経済環境市民委員会

所属：高岡一郎議員、津田加寿男議員
平成21年 10月13日～15日
①鹿児島市(環境モデル都市への取り組み等)
②水俣市(環境基本計画等)
③熊本市(市民協働モデル事業等)

建設企業委員会

所属：寺本初巳議員、寺坂美一議員、丸山孝宏議員
平成21年 10月19日～21日
①町田市(市民農園等による後継者育成への取り組み)
②豊橋市(コミュニティバス等)
③半田市(「温知知多新」半田運河再活性化プロジェクト)

新政会 所属議員

幹事長

副幹事長

政調会長

市議会議員長



たかおか いちろう
高岡 一郎 9期
●経済環境市民常任委員
●公営企業審議会委員
●尼崎野球協会会長



きたむら やすこ
北村 保子 4期
●文教常任委員
●社会教育委員
●からたち幼稚園園長



うえまつ けいざう
上松 圭三 3期
●健康福祉常任副委員長
●地域保健問題審議会委員
●左門殿社会福祉防犯連絡協議会会長



くらもと やそはち
蔵本 八十八 4期
●健康福祉常任委員
●尼崎市営農振興会顧問
●(社)全国珠算教育連盟本部理事



てらもと はつみ
寺本 初巳 8期
●建設企業常任委員
●農業委員
●市民共済生活協同組合理事



はた せいぶん
波多 正文 6期
●総務消防常任委員
●社会保障審議会委員
●尼崎市仏教会会長



あらか のぶこ
荒木 伸子 5期
●総務消防常任副委員長
●健康・医療財団理事
●総合計画審議会委員



つだ かずお
津田 加寿男 2期
●経済環境市民常任副委員長
●総合文化センター理事
●尼崎PTA連合会顧問



まるおか てつや
丸岡 鉄也 2期
●文教常任委員
●スポーツ振興審議会委員
●市立高等学校教育審議会委員



てらさか よしかず
寺坂 美一 2期
●建設企業常任委員長
●国民健康保険運営協議会委員
●議会だより編集委員長



うえむら とみあき
上村 富昭 1期
●文教常任委員
●スポーツ振興事業団理事
●社会福祉事業団理事



まるやま たかひろ
丸山 孝宏 1期
●建設企業常任委員
●(財)尼崎地域・産業活性化機構理事
●尼崎小売酒販組合理事

<http://shinseikai.net/>

自由と民主主義を尊重する、尼崎市議会のリーダー的存在！

尼崎市議会 **新政会**

〒660-8501 尼崎市東七松町1-23-1

TEL.06-6489-6050

FAX.06-6489-6048

e-mail:info@shinseikai.net